

平成30年度ひびき保育園 自己評価詳細

○運営管理

- ・運営費での物品購入に関して監査で指摘事項を参考に起案書を作成し、記録に残すようにした。小口現金に関しても、事務処理ができない時間帯においては必ず領収書と引き換えに引き出したり、メモが残るようにした結果現金の過不足が起こることが減った。引き続きしっかりと管理していく。
- ・保護者への請求時金額が間違っていたことが度々あったので、チェック体制を強化してなるべく間違えないように請求する。
- ・保育士不足が続き職員が超勤をする機会が増えてしまった。人員を増やすなど努力をして超過勤務を減らして行けるようにしていく。

○安全・危機管理

- ・園児の投擲の預かりが増えてきたので、間違えないように構造化していく。
- ・在園児のアレルギーは確認しやすいようにしたが、一時保育の子どもの確認が不十分だったので、来年度ダブルチェックをできるように改善していく。

○保育環境

- ・各保育室で危険なものや使わないものを整理整頓して子どもたちが使えるように少しでも広い空間を作り出した。
- ・園庭の柵に目隠しになるようによしずを設置したが、半分しか購入できず来年度に持ち越す。
- ・3階テラスの砂場が水はけが悪く使用が困難。土壌改良などを行ったが良い成果が得られず、今後もいろいろな試して改良を進めていく。

○保育内容

- ・各クラスの一人一人の子どもたちが充実した生活が送れるように、前半期クラスの活動を中心に行うようにした。
- ・乳児クラスなど個人差の大きいクラスに関しては職員を増やすなど、子ども一人一人の要求に答えられるようにした。
- ・夕方の過ごし方や環境設定など、試行錯誤してみた。引き続き来年度も環境設定には力をいれて子どもたちが自主的に遊び込める環境を整えていけるように努める。

○食育

- ・各クラスで実施状況に差が生まれてしまったので、来年度は栄養士が主体となって、栄養素やクッキング、食事のマナーなどを学んでいけるような時間を作るようにする。
- ・野菜栽培も夏はどのクラスも行ったが、通年通しての環境設定にはなっていないため今後、構築していく。

○子育て支援・地域交流

- ・一時保育では支援を必要としているご家庭などに寄り添い支援を行えることができたが、まだまだ、支援を必要としている家庭やニーズがありできる限りで支援を行っていく。
- ・園舎開放や交流保育など地域に開かれた施設運営ができた。

保育園自己点検表（ひびき保育園）

平成 30年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	Ⓐ・B・C・D・E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	A・Ⓑ・C・D・E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A・Ⓑ・C・D・E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	Ⓐ・B・C・D・E

安全・危機管理

1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	Ⓐ・B・C・D・E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	Ⓐ・B・C・D・E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	Ⓐ・B・C・D・E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	A・Ⓑ・C・D・E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	Ⓐ・B・C・D・E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	Ⓐ・B・C・D・E
3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	A・B・Ⓒ・D・E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	A・Ⓑ・C・D・E

健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	Ⓐ・B・C・D・E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	Ⓐ・B・C・D・E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	Ⓐ・B・C・D・E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	Ⓐ・B・C・D・E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	A・Ⓑ・C・D・E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	Ⓐ・B・C・D・E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	A・Ⓑ・C・D・E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	A・Ⓑ・C・D・E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	Ⓐ・B・C・D・E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	Ⓐ・B・C・D・E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	Ⓐ・B・C・D・E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	Ⓐ・B・C・D・E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	A・Ⓑ・C・D・E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全員が理解している	Ⓐ・B・C・D・E

評価

- A・・・理想的な状態、達成できている状態 100%
- B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態 70～80%
- D・・・頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態 30%以下

保護者アンケート結果（ひびき保育園）

アンケートのご協力ありがとうございました。60家庭に配布し、38家庭から回答をいただきました。アンケートを集計しました。様々なご意見や感想をいただき、職員一同で話しあい、これからさらに発展していきたいと思っております。

	内 容	満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満
問 1	保育園の園目標や方針が知らされている。	1	2	3	4
		29 / 38	9 / 38		
問 2	子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	1	2	3	4
		30 / 38	8 / 38		
問 3	個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られている。	1	2	3	4
		30 / 38	8 / 38		
問 4	意見や要望などへの対応ができています。	1	2	3	4
		24 / 38	11 / 38	3 / 38	
問 5	園内外が清潔で心地よい空間となっている。	1	2	3	4
		26 / 38	12 / 38		
問 6	子どもたちがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	1	2	3	4
		31 / 38	6 / 38	1 / 38	
問 7	遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分持てるよう配慮されている。	1	2	3	4
		31 / 38	6 / 38	1 / 38	
問 8	子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃなどが工夫されている。	1	2	3	4
		28 / 38	8 / 38	2 / 38	
問 9	給食が楽しく食べられるよう工夫されている。	1	2	3	4
		33 / 38	5 / 38		
問 10	保育中の体調への気配りやケガ等に対して配慮されている。	1	2	3	4
		28 / 38	8 / 38	2 / 38	
問 11	感染症の発生状況や注意事項など健康に関して情報提供されている。	1	2	3	4
		27 / 38	10 / 38	1 / 38	
問 12	園の行事や保育の内容などが知らされている。	1	2	3	4
		30 / 38	6 / 38	2 / 38	
問 13	特別な配慮《アレルギー等》が必要な場合の対応がされている。	1	2	3	4
		33 / 38	5 / 38		
問 14	職員が子育て相談等、話しやすい雰囲気や態度で接している。	1	2	3	4
		27 / 38	9 / 38	2 / 38	
問 15	保育園に対しての総合満足度は？	1	2	3	4
		31 / 38	6 / 38		
			1 / 38		

その他、ご意見・ご要望をいただきました。しっかりと会議の中で議論し、今後につなげていきたいと思っております。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

ひびき保育園 園長

平成30年度ひびき井土ヶ谷保育園 自己評価詳細

運営管理

職員学習会をテーマを持って月一回、全職員に向けて行った。講師役は園長だけではなく、主任、中堅保育士も担当した。中堅保育士はキャリアアップ研修で学んだ内容を元に研修内容を組み立て他職員に発表した。講師役をする事で自らの学びになり、他職員にとっても良い刺激となった。学習会を終えた後は全員レポートをまとめ、各自が理論と実践を結びつけられるようにした。行事ごとの保護者アンケート、年度末のアンケート結果をふまえて職員間で再度検討し改善した部分が多くあった。

安全・危機管理

- ・同一法人が運営する保育所の看護師に日ごろのけがの手当て、嘔吐処理、下痢の処理について専門の立場から指導をしてもらい再確認する事ができた。

- ・今まで行っていた避難訓練にプラスして、引き取り訓練と災害食の試食訓練を行った。大規模災害時の園児の引き取りについて、職員間で流れを作り保護者にも周知し訓練をした。災害時を想定して具体的な訓練をし職員も園児も良い経験になり、意識の向上に繋がった。

- ・避難用大人ヘルメットを購入し、避難訓練で使用した。

- ・消防署の職員に来園してもらい、AEDの使い方、消火器の使い方を指導してもらい、園児は煙体験をさせてもらった。

保育環境

- ・階段は埃が溜まりやすく一日2回掃除機をかけていたが、今年度は3回かけるようにした。

保育内容

- ・個別の支援を必要とする児童に対して、週一回の個別指導を行い、少人数での活動を繰り返し楽しんだ。その時間以外にも個々に個別の時間を設け、課題を明確にした。期ごとに保護者と面談を行い、子どもの育ちと課題を明確にし、連携を深める事ができ、その事が園児の成長に繋がった。

- ・各クラス、クラス会議の時間をもち、子どもの成長を振り返り、次の月の計画を進める事ができた。全体会議では子どもの育ちを共有し全職員で対応できるようにしてきた。

- ・行事についてはその都度話し合い、ねらいを明確にしてから準備を進めた。また今までの内容をより良い物に改善した物も多かった。

- ・キャリアアップ研修で幼児の保育を受けた保育士と幼児担任が、ごっこあそびについて継続的に話し合い、子どもたちのあそびの実態を知り、あそびが豊かになるためには、保育士がどう働きかけたら良いか、を考え実践した。

- ・一時保育の園児のごっこ遊びが幼児にも良い刺激になり、交流を持つ事もできた。

- ・うるち米と餅米の稲をいただく機会があり5歳児が育てた。カラスよけを子どもたちが作り大切に育てて収穫ができ、もみ殻を一粒ずつ手で剥き、お米が食べられるようになるまでの大変さ、食べ物の大変さを学ぶ事ができた。

- ・今まで3歳児の5月から履いていたぞうりを2歳児の秋から導入した。布ぞうりを室内で履くことから始め、少しずつ慣れぞうりを取り入れた。歩行力がつき長い距離を楽しく歩けるようになったり、リズム運動での動きが良くなり、脚の育ちを実感することができた。

- ・初めて幼児全体で楽器あそびに取り組んだ。楽器の使い方を知り、音の違いを楽しみ、みんなで合奏する楽しさを知る事ができた。

- ・異年齢保育（きょうだいグループ）を始めて4年目となり、一年間の見通しを持って活動を深めてきた。今年度は担当保育士がきょうだいグループのまとめをし、異年齢保育の意義を幼児以外の職員にも周知し、一年間の成果と課題を明確にすることができた。

食育

・子どもたちに世界の食文化、日本の食文化を知ってもらい、色々な料理を味わい楽しんでもらいたい、というねらいから、月一回ずつ”世界の料理””日本の郷土料理”を献立に入れることにした。料理を通して色々な国に興味を持ち、和食の中にも県によって特色ある料理があることを知ることができた。レシピを作り保護者が自由に持参できるようにするととても好評だった。

・各学年で野菜を育てる中で子どもたちが野菜をよく観察し生長や変化に気づきが多かった。乳児児は収穫した野菜に触れたり、幼児は野菜を使った様々なクッキングをした。栽培と食育との繋がりが深まり、育てる喜び作る楽しさを味わうことができた。

子育て支援・地域交流

・地域の親子向けに園舎開放や育児講座、育児交流を行った。楽しいあそびを提供し、子育ての悩みに答え、発達についてアドバイスができるよう心掛けたところ、継続して参加してくれる方が多かった。

・近隣の老人福祉施設が栽培の土のリサイクルに協力をして下さり、良い交流が持てた。

・近隣の陶芸の先生に5歳児が陶芸を教えていただくことができた。手指の動かし方、力の入れ具合でどんな形にも変化する土に触れ、感触を味わいながら集中して取り組み個性豊かな作品ができた。地域の文化人と触れ合うことができ貴重な経験ができた。

保育園自己点検表（ひびき井土ヶ谷保育園）

平成30年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	(A)・B・C・D・E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	(A)・B・C・D・E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	(A)・B・C・D・E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	(A)・B・C・D・E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	(A)・B・C・D・E

安全・危機管理

1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	(A)・B・C・D・E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	(A)・B・C・D・E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	(A)・B・C・D・E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	(A)・B・C・D・E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	A・(B)・C・D・E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	(A)・B・C・D・E
3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	(A)・B・C・D・E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	(A)・B・C・D・E

健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	(A)・B・C・D・E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	(A)・B・C・D・E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	(A)・B・C・D・E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	(A)・B・C・D・E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	(A)・B・C・D・E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	(A)・B・C・D・E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	(A)・B・C・D・E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	(A)・B・C・D・E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	(A)・B・C・D・E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	(A)・B・C・D・E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	(A)・B・C・D・E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	(A)・B・C・D・E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	(A)・B・C・D・E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	(A)・B・C・D・E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	A・(B)・C・D・E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	(A)・B・C・D・E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	(A)・B・C・D・E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全員が理解している	(A)・B・C・D・E

評価

- A・・・理想的な状態、達成できている状態 100%
- B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態 70～80%
- D・・・頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態 30%以下

保護者アンケート結果（ひびき井土ヶ谷保育園）

	内 容	満足	どちらかと言え ば満足	どちらかと言え ば不満	不満
問 1	保育園の園目標や方針が知らされている。	1	2	3	4
		28/38	10/38	0/38	0/38
問 2	子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	1	2	3	4
		31/38	5/38	2/38	0/38
問 3	個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られている。	1	2	3	4
		29/38	9/38	0/38	0/38
問 4	意見や要望などへの対応ができて いる。	1	0/38	3	4
		36/38	1/38	1/38	0/38
問 5	園内外が清潔で心地よい空間とな っている。	1	2	3	4
		29/38	9/38	0/38	0/38
問 6	子どもたちがのびのびと意見や意 思が表現できるような保育が行わ れている。	1	2	3	4
		29/38	8/38	1/38	0/38
問 7	遊びを通して、友達や保育士との 関わりが十分持てるよう配慮され ている。	1	2	3	4
		34/38	3/38	1/38	0/38
問 8	子どもが落ち着いて過ごせるよう 、保育室の雰囲気・おもちゃな どが工夫されている。	1	2	3	4
		31/38	7/38	0/38	0/38
問 9	給食が楽しく食べられるよう工夫 されている。	1	2	3	4
		32/38	6/38	0/38	0/38
問 1 0	保育中の体調への気配りやケガ等 に対して配慮されている。	1	2	3	4
		29/38	9/38	0/38	0/38
問 1 1	感染症の発生状況や注意事項など 健康に関して情報提供されてい る。	1	2	3	4
		29/38	9/38	0/38	0/38
問 1 2	園の行事や保育の内容などが知ら されている。	1	2	3	4
		30/38	8/38	0/38	0/38
問 1 3	特別の配慮《アレルギー等》が必 要な場合の対応がされている。	1	2	3	4
		32/38	5/38	1/38	0/38
問 1 4	職員が子育て相談等、話しやすい 雰囲気や態度で接している。	1	2	3	4
		35/38	0/38	3/38	0/38
問 1 5	保育園に対しての総合満足度は？	1	2	3	4
		31/38	6/38	1/38	0/38

ひびき金港町保育園平成30年度自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきたいと思えます。
 ・A・B・C・D の4段階評価をします。
 ・項目ごとに、意見・改善策を記述しています。

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

☆保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				早寝早起きなど子どもの成長に必要な生活リズムを整える事を中心に子どもたちの実態を踏まえ目標を設定した。
	(2) 目標は社会要請や保護者の願いを反映しているか。	○				保護者懇談の際の要望や地域の情報を受けとめ各クラスの目標に生かすようにした。
	(3) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				会議で繰り返し園目標について話し共通理解を図った。
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				年間計画・月案・週案など各クラス子どもの成長を見ながら毎月振り返りを行い作成した。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を工夫しているか。		○			子どもたちの遊びを保障し、生活しやすい環境づくりを意識し工夫した。
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				活用して物作りなどを行っている。
	(4) 評価結果を基に、保育改善に努めているか。	○				毎月振り返り、月案に反映させて改善につなげた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			常に見直す必要性を感じる。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				行事の前の会議では、ねらいを必ず話し合うようにし、計画に生かせるようにした。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			クラスごとで発達にあった取り組みを行った。
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				行事後に会議などで反省し、次年度に生かすようにした。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			まだ2年目という事もあり具体的にはないが、あれば取り入れていくよう努力したい。

☆保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
経営・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			経験年数に合わせ、会議を行う、役割を担う、など組織的な運営を行った。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			職員ノートでインフォメーションを随時行い協働した。
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				適材・適所であった。
	(4) 係や仕事分担・割り当ては適切か。	○				係・担当役を決め、役割を明確にした。
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			全体会議クラス会議など効率的に行ったが職種別会議ができると良かった。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				できる限りのことは行った。
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			限りある時間の中でできるだけことは行った。内容について今後もさらに検討。

	項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
経営・組織	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				保育目標・重点目標に基づき各クラス年間の目標を設定している。
		(2) 年齢別・クラス目標は・乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				月齢差や環境の変化などに考慮しながら設定をしている。
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				各クラス毎月の会議で子どもの実態に合わせ、ねらいの見直しを行った。
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			月齢を考慮し異年齢のグループ保育を行い、仲間意識や憧れを持つなど効果が見られた。
		(5) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				全体会議録・クラス会議録など必ず書き集積した。年間・月間計画に評価を集積。
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				各クラス手洗い・うがいの励行を行うなど保健対策を行った。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				計画に基づいて実施した。
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				感染症のお知らせなどの掲示・毎月の保健だよりなどで健康への啓発を行った。
	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			園の特色ある保育について学び保育の計画に反映させた。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			全体園内研修のための時間の確保が難しかった。
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○			手遊び・わらべ歌・リズム遊びなど日常の保育に生かせることができた。	
研究・研修	所外研究・研修	(1) 各種研究会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			外部研修に行けるよう保育体制を工夫するなどして職員全員が研修に参加できるよう計画したがキャリアアップ研修が先行。
		(2) 各種研究会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				研修報告書を作成し、報告は会議に盛り込んだ。

まとめ

- ◎子どもたちの安全面に留意し事故なく過ごすこと、また、情緒の安定を図るとともに心身の健康を保障し、日々楽しく遊び生活できる保育を目指し実践した。
- ◎ 午前睡眠やリズム運動等特色のある保育を行い、一人一人の保育者が私たちの保育が子どもたちの生涯の基礎を培うものであることを自覚し、真剣に保育に向き合うことを課題とした。園内・外の研修で意識の向上と保育技術の習得を心がけたが、終わりはなく今後も引き続き皆で努力していきたいと思う。
- ◎ 行事の取り組みは、日本の伝統や文化に触れる、保護者とともに喜んで参加するなど子どもの成長につなげることができた。
- ◎ 保護者アンケートを実施していず、意見を十分に保育に反映することができたかという思いは残るが、連絡ノートや直接声掛けをするなどし、保護者の方々には様々な場面で協力をいただき、スムーズな運営をすることができた。引き続き家庭との連携を大切に子どもたちの最善の利益を考え協力していく。
- ◎ 地域への子育て支援を行い、交流保育や育児講座、毎月の園庭・園舎開放に利用者があった。今後も引き続き地域への子育て支援を行っていく。